

## 兵庫県空手道連盟における救護活動内容

### 【医事部門】事務局の管轄組織

- ・ 2018年 兵庫県空手道連盟特別医事顧問に神戸大学医学部附属病院整形外科教授が就任
- ・ 神戸大学医学部附属病院整形外科医師・看護師にて  
「KOB E KMT（神戸空手道メディカルチーム）」結成

### 【救護メンバー】 2005年より、医師、トレーナー、看護師にて構成

- ・ 事務局からの依頼で、専任看護師により調整、全試合招集
- ・ 医師：KOB E KMTのメンバー医師  
トレーナー：兵庫県空手道連盟の専任トレーナー  
(理学療法士・柔道整復師・AT)  
国体にも兵庫県チームに帯同  
看護師：兵庫県空手道連盟専任看護師  
日本スポーツ救護看護学会認定スポーツ救護ナース  
補助要員：大会毎に連盟事務局に招集され配置

### 【救護体制の整備】

- ・ 備品：AED（連盟リース）、担架、ナースコール、衛生材料  
※救護ブースで使用するテーピングや消耗品は連盟に請求
- ・ 謝金支払い（医師5万円、トレーナー3万円、看護師2万円）  
補助要員には交通費支給
- ・ 記録システムの構築

### 【救護記録システム】

- ・ 傷病者記録：救護メンバーが関わる全ての傷病者の記録
  - ・ 空手道競技に多い内容を選定し短時間で漏れ無く記入できるよう工夫
  - ・ 救急搬送時には、原本を救急隊員に渡せるよう  
救急搬送用必要事項記載欄を裏面に確保
  - ・ 医療者からの病状説明内容を記載
  - ・ 本人・関係者の同意サイン欄
  - ・ スポーツ保険申請時の内容確認に利用
- ・ メディカルチェックシート
  - ・ 1回戦からでもテーピングを装着できるように、救護ブースで受けた処置を審判長の許可を得て試合に出場できるようにした
  - ・ 救護メンバーによる処置であれば、出場可能  
(自分自身でのテープなどは出場できない)
  - ・ カーボン紙をはさみ複写式にすることで、正当性を担保
    - ・ A4の1/2サイズで、半分に切れるようミシン目入り

- ・ 控えは集計後、傷病者記録とともに事務局で保管
- ・ 「頭部外傷後の注意事項」
  - ・ 頭部への負傷があった場合、処置後に説明して渡す

**【救護実践セミナー開催】** 日本スポーツ救護看護学会主催

- ・ 日本スポーツ救護看護学会員が、全国から参加
- ・ 定員10名、看護師を補助要員枠として救護ブース配置から導入
- ・ 形競技の間に、医師・トレーナー・看護師から救護現場に必要な知識を得るための講義を受け、組手競技には実際に傷病者・ドクターコールにも対応する救護活動を実践するセミナー
- ・ 医療者が増えることで、大会に安心安全をより提供できる
- ・ 認定ナースにとっても、コンタクトスポーツ現場での経験を積むことができ、学会の更新単位取得の機会にもなっている
- ・ 受講後は、高体連などの他団体の大会に参加

<参考資料> 傷病者記録、メディカルチェックシート、「頭部外傷後の注意事項」